

# Rim Renewable Energy

## 再生可能エネルギーレポート



特集1 「さよなら化石燃料、ようこそ脱炭素社会」

特集2 資源大国の豪州—電力需給のひっ迫で停電懸念  
～過度な再生可能エネルギー依存に警鐘も～

特集3 バイオマス産業都市推進シンポ—日本有機資源協会

【付録】世界の再生可能エネルギー情報（2017年版）

## ◆目次

<b>特集 1</b>	3
「さよなら化石燃料、ようこそ脱炭素社会」～エネルギー新時代に向け始動する国際社会～	
<b>特集 2</b>	6
豪州—電力需給のひっ迫で停電懸念 ～過度な再エネ依存に警鐘～	
<b>特集 3</b>	9
「バイオマス産業都市推進シンポジウム」が開催—日本有機資源協会	
<b>特集 4</b>	12
ERIA—原子力への住民理解(PA)向上プロジェクトを日本で開催	
<b>国内情報クリップ</b>	15
政府—水素基本戦略を発表、「脱炭素化をリードする」と安倍首相 「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」—原発ゼロ法案の骨子を発表 豊田通商—リチウム資源会社に260億円出資、EV電池材料を調達 「日本国際賞」に吉野彰氏を選出—リチウムイオン電池開発で リコーが御殿場市でペットボトルキャップの再生油生成の実証実験	
<b>海外情報クリップ</b>	23
米国—退役した石炭火力発電所の使用年数は平均52年、能力は105MW IRENA—再生可能発電コストが低下を続けるとの見通しを発表 フォード・モーターがEV開発に2022年までに110億ドルを投資 英国—EV・PHEVの新規登録台数が過去最高、年末に6万台に到達へ 中国—国営石炭会社の生産能力を18年に1,265万トン削減の目標設定 インド政府—ソーラープロジェクトに3億5,000万ドルを準備	
<b>データでみる「再エネ」</b>	30
●東京商工リサーチ 2017年の「太陽光関連発電事業者」の倒産状況	
●資源エネルギー庁 ベースロード電源として重要な水力発電—期待される中小水力	
●米エネルギー情報局(EIA) 米発電所規模の新規発電設備の約半分は再生可能エネルギー	

## ◆特集 1

## 「さよなら化石燃料、ようこそ脱炭素社会」 エネルギー新時代に向け始動する国際社会



2017年12月半ば、パリで開催された気候変動に関する国際会議「ワン・プラネット・サミット」で、石油・石炭などのエネルギー開発業界に激震が走った。この会議に参加した世界銀行が、19年以降、一部の例外を除き、石油・天然ガス開発プロジェクトへの融資をやめると宣言したのだ。

続きはこちら >

## ◆特集 3

## 「バイオマス産業都市推進シンポジウム」が東京で開催

バイオマスの「地産地活」で活路見出す地方自治体

2018年2月6日、都内で「バイオマス産業都市推進シンポジウム」(主催:日本有機資源協会、牛久保明邦会長)が開催された。群馬県上野村の黒澤八郎村長らが講演で、当該自治体の取り組みを紹介するとともに、シンポジウムでは「バイオマス事業の課題と今後の展望」をテーマに熱い議論が交わされた。(写真はシンポジウムの様子)



[続きはこちら >](#)